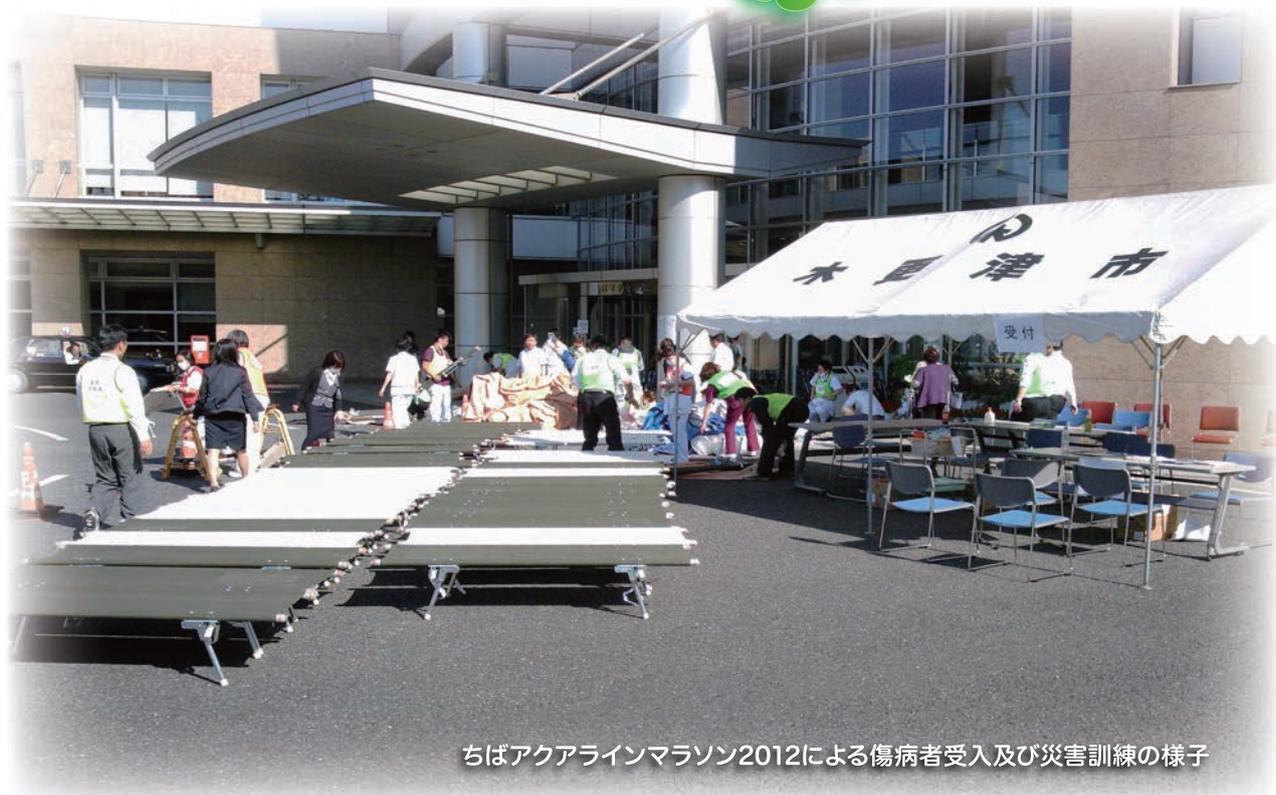


クローバー Clover

vol. 35

2014年10月発行
編集・発行
君津中央病院
☎0438(36)1071

<http://www.hospital.kisarazu.chiba.jp>



ちばアクアラインマラソン2012による傷病者受入及び災害訓練の様子

理念

私たちは良質で安全な医療を提供し
地域の皆さまに親しまれ、
信頼される病院をめざします。



認定第JC295-2号
審査体制区分4(ver. 5.0)
(更新審査中)

日本医療機能評価機構とは、市民が適切で質の高い医療を安心して享受できるように、医療機関の機能を学術的観点から評価する第三者機関です

基本方針

- 1 接遇とサービスに心がけ、心が安らぐ癒しの環境を整えます。
- 2 高度で良質なわかりやすい医療を提供します。
- 3 包括医療を実践し、地域との連携を大切にします。
- 4 救命救急医療体制の確立と小児、周産期及び終末期医療の充実をめざします。
- 5 職員の教育・研修を推進し、自己研鑽に努めます。
- 6 病院で働く人が一体となり、経営の健全化と満足感のある職場をめざします。

目次

次

表紙《病院の風景》……………	1	君津中央病院ボランティア「ひつじぐも」活動紹介	
医務局 緩和医療科の紹介……………	2	事務局 医事課の紹介……………	6
病気のおはなし 今からスギ花粉症対策!? ‘古くて新しいアレルギー免疫療法’……………	3	附属看護学校【平成27年度学生募集】 第5回 君津圏域地域リハビリテーション支援事業 公開フォーラムのお知らせ……………	7
退院支援チームの紹介……………	4	大佐和分院よりお知らせ……………	8
看護局 5階西病棟の紹介……………	5		

医務局 緩和医療科の紹介

I. 緩和ケアってなあに？

WHOは2002年、緩和ケアを、「緩和ケアとは、生命を脅かす疾患による問題に直面している患者とその家族に対して、疾患の早期より痛み、身体的問題、心理社会的問題、スピリチュアルな問題に関する的確な評価を行ない、それが障害とならないように予防したり、対処することで、生活の質(クオリティ・オブ・ライフ: QOL)を改善するアプローチである」と定義しました。これに伴い、昨年、日本緩和医療学会では国民に対する分かりやすい緩和ケアの説明として、「緩和ケアとは、重い病を抱える患者やその家族一人一人の身体や心などの様々なつらさを和らげ、より豊かな人生を送ることができるよう支えていくケア」としました。

すなわち、緩和ケアの対象は「末期」だけではなく「疾患の早期」から、「がん」だけではなく「あらゆる疾患」となり、「予防」が重要になってきました。また、患者さまご本人だけではなく、ご家族も大切に、「痛み」などの「身体の問題」だけではなく、「その人がその人らしく生活できる」ように「日常生活」や「生き方」の支援も大切にしています。

II. 緩和ケアを受けた方が長く生きられる！

皆さんは、「緩和ケア」と聞いたら何を思い浮かべるでしょうか？「緩和ケア病棟に入院したらもう最期」、「モルヒネは怖い薬で使ったらもう最期」などといった印象をお持ちの方も少なくないかと思います。

しかし、モルヒネなどの医療用麻薬は、適切な症状に対して適切な量を使えば安全です。

それどころか、「緩和ケアを受けた患者は受けなかった患者よりも長く生きられる」という報告が世界的に多数出ています。「痛い」、「苦しい」などのつらい症状が和らいで食欲や体力が回復するためであると思われます。

「痛い」、「苦しい」などのつらい症状も早期から適切な治療を受ければ、ほぼ取り除くことができます。

III. Advance Care Planning

最近、「終活」ということばが流行しています。Advance Care Planningとは、「終活」とほぼ同じ意味と考えていただいてもよいと思います。

すなわち、「最終的に命に関わることが避けられない重い病気になったときに、どのような治療やケアを受けたいか、どのように過ごしたいか」、「大切な人にどんな大切なものを遺したいか」などを早期から考えておくということです。

緩和ケアでは、Advance Care Planningの支援も可能です。

IV. 緩和ケア病棟では何をするの？

緩和ケア病棟の入院の対象は、手術や抗がん剤治療、放射線治療などの悪性腫瘍を治すための治療を行う時期ではない方となっています。

主治医から紹介されて外来で面談した後、入棟申し込みをしていただき、入棟判定委員会を開催し、入棟可能となった場合に入院できます。緩和ケア病棟入院のきっかけや目的としては、「入院してつらい症状を何とかしたい」、「家族が介護に疲れたので一時的に入院したい(レスパイト入院)」、「病気が進み、家で過ごすことが難しくなったので入院したい」などがあります。

いずれにせよ、「つらい症状」を和らげることを通して、「やりたいことをやり、やりたくないことはやらない」、「大切な時間をその人らしく過ごす」ためのお手伝いをする病棟です。

(緩和医療科 高橋 陽)



病棟からベッドごと出られる中庭

病気のおはなし ‘古くて新しいアレルギー免疫療法’

毎年1月から2月になりスギ花粉が飛んでくる時期となると、憂鬱になる方も多いと思います。「なぜこの時期にスギ花粉症の話なの?」と不思議に思う方もいると思いますが、2014年11月からスギ花粉症の新しい治療が開始される予定ですので、その治療についてお話しします。



日本においてスギ花粉症は増加の一途をたどり、現在は国民の4人に1人はスギ花粉症です。一度スギ花粉症になると自然に治る事は非常に少なく、毎年春に眼や鼻の症状に悩まされ、生活の質も低下し、社会的な損失も大きいものがあります。

現在様々な薬が開発され、ある程度症状のコントロールができるようになりましたが、根本的な治療ではないため、毎年春に必ず薬を使用しなくてはならないという問題が残っています。



アレルギー免疫療法は、現在スギ花粉症を含めたアレルギー性鼻炎に対する唯一の根本的な治療として期待されています。

古くは、皮下に注射をする皮下免疫療法(減感作療法)が行われていました。効果は認められるものの、頻回の通院を要し、注射による疼痛や、稀に重篤なアレルギー反応(アナフィラキシー)を起こす事があり、あまり普及しませんでした。



新しい治療法‘舌下アレルギー免疫療法’は、皮下免疫療法の欠点を補う形で開発された治療法です。

写真で示しますが、毎日アレルギー(スギ花粉エキス)を舌の下に2分保持します。ただそれだけです。毎日行う事でアレルギーに体を慣れさせ、症状を抑えるという治療です。痛みがなく、重篤なアレルギー反応が少ない事が皮下免疫療法と比べメリットです。

ただ、アレルギーに慣れるためには毎日行う必要があります。きちんと効果が出るためには最低2年間(推奨は3年~5年)、毎日行わなくてはなりません。1度、1週間、1ヶ月行うだけではお金がかかるだけで、全く効果はありません。即効性はないため、この治療には根気と覚悟が必要です。



免疫療法の最大のメリットは、今までの薬をなくす事や、減らす事ができる事(7割位の方に効果)、治療をやめた後も効果が持続する事、他のアレルギーの感作を抑える事、喘息の発症を抑える事とされています。

この治療をできる人できない人がいます(12歳未満は現在適応外等)。また、治療の開始時期はスギ花粉が飛んでいない時期でなくてはなりません。この治療は2014年10月以降に保険適応される予定です。保険適応されてから、免疫療法のできる施設(病院、クリニック)がわかるようになり、詳しい適応についてのお問い合わせや受診ができるようになります。当院でも2014年11月以降行う予定です。耳鼻咽喉科を受診していただければと思います。

また、2015年3月にはダニ(通年性アレルギー性鼻炎)に対する舌下免疫療法も開始される予定です。興味がある方は長期間行う覚悟を持って試してみてください。

(耳鼻咽喉科 山本 隆三郎)



舌下アレルギー免疫療法

退院支援チームの紹介

君津中央病院はこの地域で唯一、救急救命センターのある急性期病院です。高度な治療を必要とする患者さまや重症の患者さまなど、急性期治療が必要な患者さまが次々に入院してきます。昔は元気になる(以前の状態に戻る)まで、一つの病院で治療をしていました。現在は国の医療政策の一環で、治療内容や病状などに応じて病院(療養場所)を移り、目的別に治療や療養を行う体制がとられています。そのため急性期治療を終えた患者さまは、リハビリを専門に行う病院や、療養を中心に体力の回復を目指しながら治療する病院、あるいは介護を受けながら生活するための施設や自宅などに移り、療養生活を継続しています。

退院支援チームは、君津中央病院に入院した患者さまやご家族の皆さまが、納得して次の療養先を選び、新たな療養先で安心して生活できることの実現を活動の目的としています。平成22年から活動を始め、現在は一般病棟と救急病棟の看護師の他、医療ソーシャルワーカー(相談員)や訪問看護師などが参加しています。(写真)月1回行われている会議では、支援が必要な患者さまに対して、適切な療養支援が行われるための情報共有や意見交換を行っています。そこで話し合われた内容を基に、主に病棟看護師などが入院患者さまに対して、退院に関する様々な支援を行っています。

それぞれの病棟では、入院患者さまやご家族の皆さまが急性期治療を終えた後、どこでどのような生活を送りたいのかを確認し、入院した時から退院時の困り事などについて、病状や治療状況、日常生活状況などから予測し、支援を開始しています。病棟内で定期的に行われている退院支援に関する話し合いの場には、病棟師長、病棟看護師、医療ソーシャルワーカー、訪問看護師以外にも、医師や理学療法士、薬剤師などたくさんの病院内の専門職が参加しています。一人一人の患者さまに、今どのような支援ができるかについてみんなで確認し、その結果を踏まえて患者さまとご家族の皆さまに病状や治療経過に合わせた退院後の生活や準備についてのお話しをしています。退院後に利用可能なサービスや制度についてもご案内し、サービス導入に向けた調整も行っています。

退院支援チームでは、地域のケアマネジャーと入院時から連絡や連携が図れるような取組も始めています。急性期治療を終えて、君津中央病院を退院される患者さまとご家族の皆さまが、「ここに入院できてよかった。次の療養(退院)先でもがんばろう」と思えるよう、退院支援チーム員が一丸となって活動の充実に努めたいと考えています。

(退院支援チーム(訪問看護室師長) 杉原 幸子)



退院支援チームのメンバー

看護局 5階西病棟の紹介

5階西病棟は、婦人科、呼吸器外科、総合診療科を中心とした混合病棟です。

婦人科は、子宮筋腫、子宮内膜症、子宮脱、子宮癌などの患者さまに対して手術やQOL(患者さまの生活の質)を重視した化学療法、放射線治療を行っています。

十分なインフォームドコンセント(患者さまが医師から病気の内容、治療内容、治療法の問題点・危険性など詳しく説明され納得してから治療を受けること)の上で、患者さまとご家族が選択された治療が安全に行われ、治療の効果が向上するよう医師も看護師も最善をつくしています。

呼吸器外科では、肺腫瘍、気胸などの患者さまに対して検査・手術・化学療法などの治療を行っています。治療の内容によって6階西病棟と連携しながら患者さまを受け入れています。呼吸器外科でも、十分なインフォームドコンセントを基本とし、胸腔鏡による身体に優しい治療(内視鏡手術)や化学療法・放射線療法が行われています。

化学療法による治療を行った場合は、副作用が出現することがあります。食欲不振がある場合は、患者さまと相談しながら栄養科と連携し、普通食の半分量(ハーフ食)にして、3種類のメニューから選択することができるなどの工夫を行っています。患者さまの症状によっては、認定看護師(がん化学療法、がん性疼痛、皮膚・排泄ケア)と連携をとり、副作用の早期対応、疼痛緩和に努めています。

総合診療科では、総合診療を「診断のついていない症候や健康問題を有する患者さまに対して、生物・行動・社会的な問題すべてに対して原因臓器に限定されない包括的な切り口での診療」と定義しています。主に内科系の初診や、何科にかかっているのかわからない患者さまを対象に診察しています。病棟では、診断がついていない不明熱、肺炎や尿路感染症などの患者さまを受け入れています。診断が確定し、専門的な治療を要する場合には該当科へ転科することがあり、

病気の状態によっては転院することもあります。診断のために幾つかの検査が行われ、患者さまの臨床症状から一つ一つ削除しながら鑑別していくため、看護師もより多くの知識や技術が必要となりますので、自己研鑽に努めています。

患者さまの中には、検査・治療・手術のための入院に対して、不安を感じる場合もあると思いますが、安心して入院生活を送れるように多職種(医師、看護師、薬剤師、栄養士、訪問看護師、理学療法士、ソーシャルワーカーなど)が関わり、患者さまをサポートしています。患者さまの情報を共有し、症状に応じて病院内の様々な多職種合同の医療チームが介入し、カンファレンスを行いながら最良の医療と看護を提供できるように体制を整えています。

5階西病棟は、今年新たに2名の新人看護師を迎え、22名となりました。スタッフは常に笑顔を忘れず、少ない人員だからこそ協力しながら頑張っています。患者さまが安心して入院生活を送っていただけるよう安全に心がけるとともに、患者さま・ご家族の方とのコミュニケーションを大切にしています。入院されましたら、遠慮せずスタッフにご相談ください。

(5階西病棟師長 山崎 恵津子)



君津中央病院ボランティア「ひつじぐも」活動紹介

院内ボランティア「ひつじぐも」の活動は、平成15年から続けております。主な活動内容としては、受診援助・移動図書・園芸・理髪・読み聞かせ・生け花・院内コンサートなど行っております。

今年7月5日に行われた院内コンサートは、君津市を拠点に福祉施設、学校、病院等で演奏活動を行っているプレジール・ドリームアンサンブルの方々に行っていただきました。Let It Go (アナと雪の女王)、ルージュの伝言(魔女の宅急便)、スイートビートサンバ(オールナイトニッポンテーマ曲)など演奏していただき、100名以上の患者さまやご家族さまが鑑賞されました。今年の院内コンサートは、クリスマスの時期にも予定しております。参加は自由ですので、興味がある方は是非お越しください。

また、院内ボランティアは随時募集しておりますので、興味のある方は是非よろしくお願ひ致します。病院を利用する患者さま・ご家族さまに、心が安らぐ癒しの環境を提供できるよう、ボランティア委員一同、日々の活動を続けていきます。

(ボランティア委員会 堀田 正伸)

演奏の様子



集合写真

事務局 医事課の紹介

医事課とは、病院の医療費を取り扱っている部署で、医療事務だけではなく患者さまへの説明やご案内、各種手続きの説明やご案内などの業務も担当している部署です。現在、課長以下52名の職員が、医事企画室、外来班、会計班、入院班、文書管理班の5つの部署に配置され、患者サービスの向上、経営の健全化、未収金の削減を基本方針としてそれぞれの業務を行っております。

■ 医事企画室 ■

病院の運営に必要な医療情報の分析、医業収益増加施策の企画立案、院内調整に関する業務を担当しております。変化の激しい医療情勢に対応できる病院運営を目指しております。

■ 外 来 班 ■

当日来院された患者さまの診療予約や各種受付、外来診療費の算定、請求及び収納、保険請求事務等の業務を担当しております。

■ 会 計 班 ■

診療費の請求・徴収や未収金の管理督促等に係る業務を担当しております。未収金回収については、病院職員では特に回収困難な未収金に対して、未収金回収実績のある法律事務所に未収金回収業務を委託し、未収金の削減と医療費負担の公平性を保つことを目指しております。

■ 入 院 班 ■

入院される患者さまの入退院の手続きや入院診療費の算定、請求、保険請求事務等の業務を担当しております。

■ 文書管理班 ■

患者さまより依頼された診断書等の書類に係る業務、労災保険や自賠責保険に係る業務、市町村実施の二次精密検査や妊婦・乳幼児検診の受付、請求に係る業務等を担当しております。

(医事課長 池田 倫明)



外来班・会計班

入院班・文書管理班

君津中央病院附属看護学校

平成27年度学生募集

- | | |
|--------|--|
| ① 募集人員 | 60名(推薦入試合格者を含む) |
| ② 修業年限 | 3年 |
| ③ 応募資格 | 高等学校卒業者(見込みの者も含む)
またはそれと同等以上の学力を有すると認められる者 |
| ④ 試験科目 | 第1日目：数学I・A、英語、国語(現代文)
第2日目：面接(1日目の合格者のみ) |
| ⑤ 願書受付 | 1次募集：平成26年12月15日(月)～12月24日(水)…必着
2次募集：平成27年1月26日(月)～2月3日(火)…必着 |
| ⑥ 試験期日 | 1次募集：第1日目 平成27年1月10日(土) 8:30～
第2日目 平成27年1月11日(日) 8:00～
2次募集：第1日目 平成27年2月14日(土) 8:30～
第2日目 平成27年2月15日(日) 8:00～ |
| ⑦ 合格発表 | 1次募集：平成27年1月20日(火) 9:00
2次募集：平成27年2月24日(火) 9:00 |

※入学試験に関するお問い合わせは、ホームページまたは入試係までお問い合わせください。

T E L ▶ 0438-53-8767

受付時間 ▶ 9:00～17:00(土・日・祝日を除きます)

※7月26日(土)と8月3日(日)に開催したオープンキャンパスは、2日間で320名の参加があり、盛況のうちに終了いたしました。(写真)



学校案内



沐浴体験

第5回 君津圏域地域リハビリテーション支援事業 公開フォーラムのお知らせ

「いつまでも元気に暮らし続けよう～市民発！健康増進活動の発表～」

対象 一般市民と介護予防に関わる多職種の方々

日時 平成26年11月30日(日) 14:00～16:00
(受付 13:30から)

会場 君津中央病院 4階講堂

次第 第1部 君津・木更津・富津・袖ヶ浦の保健師さん(地域包括支援センター)と
市民グループの健康増進活動の発表会
第2部 健康増進についてみんなで話し合おう

問合せ
・
申込み

地域
連携
室

〒292-8535 千葉県木更津市桜井 1010 番地
T E L ▶ 0438-36-1071(内線 2810) F A X ▶ 0438-36-0399
E-mail ▶ fukushi@hospital.kisarazu.chiba.jp
申込み期限 11月21日(金) 17:00 まで
※申込みは上記宛先まで郵送又は FAX もしくは E-mail でお願いいたします。

大佐和分院よりお知らせ

人間ドック受付中
TEL 0439-65-1251

大佐和分院は昭和45年開業以数度の増改築を経て現在に至っています。築40年を過ぎ、建屋はかなり老朽化していますが、その中できらりと光るミニギャラリー「せせらぎ」とサンルーム脇の池を紹介します。

待合室の壁面を利用したミニギャラリーは、一般の方からの作品を提供していただき、ジャンルを問わず、油絵、水彩画、墨絵、植物の花、葉を利用した貼り絵など多彩な作品を展示し、患者さまや面会に来られる方々から好評を得ています。



ミニギャラリー

一方、サンルームの脇にある池は、現在18匹の鯉が遊泳し、周辺の植栽と合わせ清涼感ある癒しの空間として喜ばれています。

毎日の餌やりの時間には子供たちも喜んで協力してくれます。池の汚れがひどいので、年一回、鯉をプールに移し、池の大掃除を実施しています。これに合わせて池周辺の植栽を庭師さんながら、職員が刈り込みを行い、維持管理を行っています。分院に来られた時は、是非ご覧ください。



鯉の餌やり

(施設係 新井本 優)

外来診察担当医表

(平成26年10月1日～)

診察室	月曜日		火曜日		水曜日		木曜日		金曜日		備考
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	
内科 小児科	1	村山			村山		村山				*村山医師 (旧姓山本医師)
	2	田中	田中		三浦		田中		田中		
	3		北湯口		北湯口		北湯口 (桐谷)	(毎月最終 木曜日は 桐谷)	北湯口		
	5	安達			安達		安達				
循環器科		山本・松戸・ 関根(交代)									
神経内科	1		藤沼								
外科	5						朱				
整形外科	5		保住								
皮膚科	5		稲福 小熊	第1・3・5週 第2・4週							
泌尿器科			杉浦								
眼科	佐々木	佐々木	佐々木		佐々木	佐々木	佐々木		佐々木		
人間ドック					田中				山倉		

受付時間
午前 8:00~11:30
午後 12:00~15:00

診察開始時間
午前 9:00~
午後 13:30~ (皮膚科 14:00~)

国保直営君津中央病院大佐和分院
富津市千種新田710番地
TEL 0439-65-1251

編集後記

実りの秋・食欲の秋になりました♪この時期ならではの美味しいものを楽しみながらも、食べ過ぎには注意し、スポーツの秋、読書の秋と楽しみましょう！

(K. U.)